

令和6年度も早いものでもう3月、子どもたちは1年の締めくくりの学習に取り組んでいます。新学年に期待感を持ち、確実に一步を踏み出せるように支援を続けていこうと思います。

途中号から登場しました本校イメージキャラクター「いなみん」、羽は2つで「いなみの」の「い」、顔は校歌の歌詞にある「輝く太陽」を、青で「うつつ琴池」を、緑で「ひらける播磨」を表しています。丸みは「和」がとれた姿を表現しています。本校は今後も協力し「支え合う」姿を目指し進んでまいります。

学校行事予定



令和7年4月

～7(月) 春季休業日

8(火) 始業式

10(木) 小中・高入学式

※在校生休業日

11(金) 離任式

14(月) 給食開始

17(木) 中学部 交通教室

18(金) 小中学部学校説明会

25(金) 中学部 新入生歓迎会

28(月) 家庭訪問、保護者懇談

(～5/7まで)

※行事や授業予定は今後変更もあります。変更時は本校HPにてお知らせします。

いなみ野特別支援学校 HP

<https://www2.hyogo-c.ed.jp/weblog2/inamino-sn/>

QRコードはコチラ! →



いなみ野の学習活動

小・中・高 卒業式

3月5日(水)に高等部の卒業式がコスモホールで、11日(火)に小・中学部の卒業式が本校仮設校舎多目的室Iで行われました。小学部12名、中学部25名、高等部61名の子どもたちは新たな道へ巣立っていきました。証書を受け取る子どもたちの表情は誇らしげでとても立派でした。今までの子どもたちの頑張り思いを馳せると目頭が熱くなりました。



ちょっと

ひとやすみ



「教室の中の視覚支援」

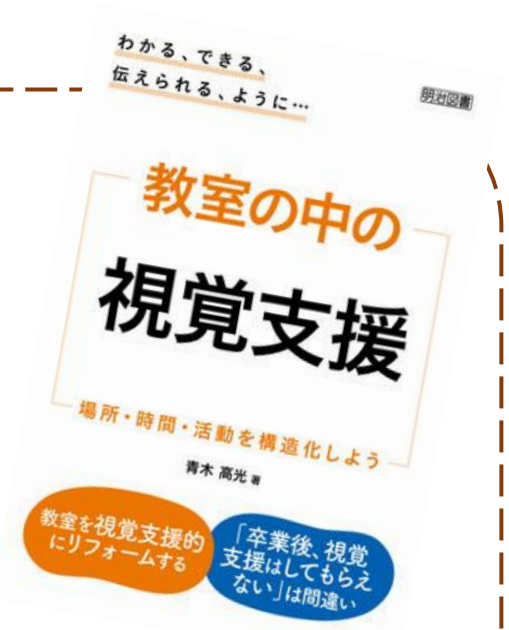
著書：青木高光 出版社：明治図書

(視覚支援…!?もう知ってるよ。)(そんなもの必要ないでしょ。)
(視覚支援なんてなくても子どもたちは動けてるし。)(いつまでもしてあげられないでしょ。)(動けるようになったので視覚支援を全部外しました!)

視覚支援という言葉がこれほど社会に浸透している現在だからこそでしょうか。様々な意見が聞かれます。

駅や街には視覚的な支援が溢れています。教室の中も見直してみませんか。著書は、ドロップスで有名な青木高光先生。

一番心に残ったのは「視覚支援が必要かどうかを決めるのは支援者ではない。子どもたちだ。」という言葉です。青木先生の子どもを尊重した関わりを読み、初心に戻った私です。



今年度の地域支援について（報告）

地域支援								
	入学相談	転入相談	教育相談		巡回	見学	研修講師	関係機関との連携
			来校	電話				
合計	192	12	10	19	30	44	3	217

2025年2月28日現在

<来校・電話教育相談>

- ・高等学校からのメールでの問い合わせをはじめ、地域の保護者から本校教育についての相談もありました。就学・入学先で迷われている保護者の方と適切な学びの場についてお話をするケースもありました。

<巡回相談>

- ・本校コーディネーターが地域の幼保、小、中、高等学校に訪問し、活動・学習の様子などを見学し、支援のニーズがある子どもたちへの支援を一緒に考えました。保護者との面談を行ったケースもありました。

